

デバイスインストーラのダウンロードと操作書

2021年10月6日現在

本記載は、当社機器を使われる技術者を対象としています。

XPortの「デバイスインストーラ」のダウンロードと操作の解説します。

ここで使用するPCはWin10 Home または Pro の32bit または 64bit とします。

【ダウンロードとインストール】

米国のLantronix社のサイトを開きます。(日本のサイトではなく)

<https://www.lantronix.com>

device installer と入力して検索します。

多分最初に見つかる「Device Installer」を選択します。

Deviceinstaller Firmware を選びます。

「4.4.0.7」のWeb Setup application for Windows ZIP をダウンロードします。

この中の

setup.exe <--- セットアップ用

DI_x86DLJA_4.4.0.7.msi <--- 32bit 用日本語

DI_x64DLJA_4.4.0.7.msi <--- 64bit 用日本語

32bit または 64bit のいずれかを選択し、「実行」として、

インストールをします。

【デバイスインストーラでIPアドレスを変更する手順】

Win10 パソコンと「ET-xx」をルーターまたはHUB経由で接続します。

インストールされた「Lantronix DeviceInstaller」を起動します。

端末機器を接続していれば、30秒程度でXPortを認識して表示します。

※XPortを認識できない場合は、既に「192.168.11.10」の他の機器が存在しませんか？

※「Windows システムツール」→「コマンドプロンプト」を起動して、

『ping 192.168.11.10』 コマンドにて接続の確認をします。

目的のXPortをポイントして、『IP割当』ボタンを押します。

特定IPアドレスの割当とし、

納品時の192.168.11.10のIPアドレスを変更し、『割当』ボタンを押します。

これで完了です。

【デバイスインストーラでポート番号を変更する手順】

目的の XPort をポイントして、ダブルクリックします。

「Web コンフィギュレーション」のタブを押します。

アドレスバー右の「→」ボタンを押します。

Windows セキュリティの画面で、ユーザー名もパスワードも入れずに「OK」とします。

「Web Manager」の画面が出ます。

左側の「Connection」を選びます。

Local Port = 10001 これを変更します。

画面下の「OK」を押してから、「Apply Settings」で書き換えます。

XPort に書き込みますので、終わるまで待ちます。

(注意) デバイスインストーラは、XPort の IP アドレスとポート番号を変更することが目的です。運用時には、デバイスインストーラは必ずしも必要はありません。従って、運用 PC と、ここでの PC は別物で OK です。

【デバイスインストーラで接点転送装置用の設定を変更する手順】

当社機器の xx 点接点転送装置を使用される場合に適用します。

「Connection」において、Active Connection を「With Any Character」とします。

Remote Port に相手のポート番号を入れます。

Remote Host に相手の IP アドレスを入れます。

画面下の「OK」を押してから、「Apply Settings」で書き換えます。

XPort に書き込みますので、終わるまで待ちます。

以上